新潟県報道資料

新潟県

令和８年５月 28 日
福祉保健部感染症対策・薬務課

新潟県感染症情報（週報速報版）をお知らせします
（令和８年第 21 週：令和８年５月 18 日から令和８年５月 24 日まで）

※新潟県感染症情報は**「速報版」**であり、前週公表した数値と異なる場合があります。

●今週のトピック

◆麻しん（はしか）に注意をお願いします。（別紙１参照）

○第10週（３/２～３/８）以降の県内での発生はありませんが、全国的には直近10年で最多の2019年とほぼ同じ水準で推移しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分でなく、ワクチンが重要です。**麻しん（はしか）は、先進国でも重症化することもあり、1,000人に１人死亡するとされている感染症**です。

○**発熱、発しんなどの麻しん（はしか）を疑う症状がある場合は、外出を控える**とともに、**受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、医療機関の指示に従ってご対応いただく**ようお願いします。また、受診の際には、**公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。**

○ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、麻しん・風しんワクチンの２回接種が重要です。お子様が**定期接種の対象である１歳又は就学前１年間**にある場合、**積極的に早期の接種をご検討**ください。

○また、ご自身やご家族の予防接種歴について確認をお願いします。２回の接種記録を確認できない場合は、必要に応じて医療機関にご相談ください。

※厚生労働省「麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ」（**別紙２参照**）

麻しん（はしか）の国内外での報告増加に伴う注意喚起について － 新潟県ホームページ
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kanyaku/1356868039539.html

◆つつが虫病の届出がありました。（別紙３参照）

○つつが虫病の今年２件目の届出がありました。

○ダニの一種であるツツガムシに刺されることによって感染します。春～初夏及び秋～初冬に２つの発生ピークがあります。人から人へ感染することはありません。

○野外作業、山菜採り、アウトドアレジャーなどで山林や草地などに入る際は、長袖、長ズボン、長靴を着用し、肌をできるだけ出さないようにしたり、防虫スプレーを使用するなどの対策をとりましょう。

つつが虫病に注意しましょう － 新潟県ホームページ
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kanyaku/1356900210916.html

●定点報告

全県に警報を発令している疾病：なし

●全数報告

1類感染症	届出なし				
2類感染症	結核	５件	新潟市保健所管内	患者	30 歳代女性
			新発田保健所管内	患者	80 歳代男性
			三条保健所管内	患者	70 歳代男性
			佐渡保健所内	患者	80 歳代男性
			上越保健所管内	患者	80 歳代女性
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	１件	新津保健所管内	患者	10 歳未満男性
4類感染症	つつが虫病	１件	上越保健所管内	患者	80 歳代男性
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	２件	新潟市保健所管内	患者	80 歳代女性
			三条保健所管内	患者	90 歳代男性
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	１件	新潟市保健所管内	患者	80 歳代男性

侵襲性肺炎球菌感染症	３件	新潟市保健所管内	患者	20 歳代男性
		柏崎保健所管内	患者	80 歳代男性
		佐渡保健所管内	患者	80 歳代男性
梅毒	１件	三条保健所管内	患者	40 歳代女性
百日咳	８件	新潟市保健所管内	患者	30 歳代女性
		新潟市保健所管内	患者	10 歳代男性
		新潟市保健所管内	患者	60 歳代男性
		新潟市保健所管内	患者	10 歳代女性
		新潟市保健所管内	患者	10 歳未満男性
		新潟市保健所管内	患者	10 歳代男性
		新潟市保健所管内	患者	10 歳未満男性
		長岡保健所管内	患者	10 歳未満女性

次回は令和８年６月４日（木）発行予定です。

福祉保健部感染症対策・薬務課感染症対策班
電話 025-280-5200 （内線 2594）

5類感染症定点把握対象疾患（週報届出分）地域振興局等管内別報告数　　令和8年第21週：5月18日から5月24日まで

		県計	新潟市	新発田	新津※	三条	長岡	魚沼	南魚沼	十日町	柏崎	糸魚川	村上	佐渡	上越
インフルエンザ	実数	1	1												
	定点当	0.02	0.06												
新型コロナウイルス感染症	実数	12	7				1		1					3	
	定点当	0.22	0.39				0.14		0.33					1.50	
RSウイルス感染症	実数	9	2			5		1							1
	定点当	0.30	0.20			1.67		1.00							0.50
咽頭結膜熱	実数	12	4				7				1				
	定点当	0.40	0.40				1.75				1.00				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	実数	132	17	7		29	56	3	1				14	1	4
	定点当	4.40	1.70	3.50		9.67	14.00	3.00	0.50				14.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	実数	124	39	3		11	26	10		7		6	1	1	20
	定点当	4.13	3.90	1.50		3.67	6.50	10.00		7.00		6.00	1.00	1.00	10.00
水痘	実数	15	4				5						6		
	定点当	0.50	0.40				1.25						6.00		
手足口病	実数	6				1	5								
	定点当	0.20				0.33	1.25								
伝染性紅斑	実数	18	1			7	3	1						5	1
	定点当	0.60	0.10			2.33	0.75	1.00						5.00	0.50
突発性発疹	実数	6	3	1			1							1	
	定点当	0.20	0.30	0.50			0.25							1.00	
ヘルパンギーナ	実数														
	定点当														
流行性耳下腺炎	実数	1					1								
	定点当	0.03					0.25								
急性出血性結膜炎	実数	2				2									
	定点当	0.20				2.00									
流行性角結膜炎	実数	5	1			2	2								
	定点当	0.50	0.20			2.00	1.00								
細菌性髄膜炎	実数														
	定点当														
無菌性髄膜炎	実数														
	定点当														
マイコプラズマ肺炎	実数	5					3		1				1		
	定点当	0.38					1.50		1.00				1.00		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	実数														
	定点当														
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	実数	1								1					
	定点当	0.08								1.00					

		県計	新潟市	新発田	新津※	三条	長岡	魚沼	南魚沼	十日町	柏崎	糸魚川	村上	佐渡	上越
急性呼吸器感染症	実数	2636	992	134	16	389	392	85	75	121	75	131	23	126	77
	定点当	50.69	55.11	33.50	8.00	77.80	78.40	42.50	25.00	40.33	37.50	65.50	23.00	63.00	25.67

※新津は、新潟地域振興局管内（五泉市、阿賀町）

実数：指定届出機関（定点医療機関）からの患者報告の総数

定点当：実数を指定届出機関（定点医療機関）の総数で除したもの

5類感染症定点把握対象疾患（週報届出分）最近6週間の推移

令和8年第21週：5月18日から5月24日まで

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	年齢別	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
インフルエンザ	実数	104	59	30	16	6	1							1	
	定点当	1.89	1.07	0.55	0.29	0.11	0.02							0.02	
新型コロナウイルス感染症	実数	48	52	46	39	30	12		1	1	1	3	1	1	4
	定点当	0.87	0.95	0.84	0.71	0.55	0.22		0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	0.08

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	年齢別	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	実数	20	25	11	7	12	9		1	7	1			
	定点当	0.67	0.83	0.37	0.23	0.40	0.30		0.03	0.23	0.03			
咽頭結膜熱	実数	4	7	5	6	11	12		1	8	3			
	定点当	0.13	0.23	0.17	0.20	0.37	0.40		0.03	0.26	0.09			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	実数	140	154	172	63	118	132			35	65	15	4	13
	定点当	4.67	5.13	5.73	2.10	3.93	4.40			1.16	2.17	0.50	0.13	0.43
感染性胃腸炎	実数	144	126	152	79	140	124		10	54	43	12	1	4
	定点当	4.80	4.20	5.07	2.63	4.67	4.13		0.33	1.79	1.44	0.40	0.03	0.13
水痘	実数	25	9	15	7	12	15			2	12	1		
	定点当	0.83	0.30	0.50	0.23	0.40	0.50			0.06	0.40	0.03		
手足口病	実数			5		1	6			5	1			
	定点当			0.17		0.03	0.20			0.17	0.03			
伝染性紅斑	実数	11	11	13	7	8	18			10	6	2		
	定点当	0.37	0.37	0.43	0.23	0.27	0.60			0.33	0.20	0.07		
突発性発疹	実数	3	2	7	4	11	6		1	5				
	定点当	0.10	0.07	0.23	0.13	0.37	0.20		0.03	0.17				
ヘルパンギーナ	実数	1		1	1									
	定点当	0.03		0.03	0.03									
流行性耳下腺炎	実数						1				1			
	定点当						0.03				0.03			
急性出血性結膜炎	実数	1		2			2							2
	定点当	0.11		0.20			0.20							0.20
流行性角結膜炎	実数	1	4	13	17	11	5					2	1	2
	定点当	0.11	0.40	1.30	1.70	1.10	0.50					0.20	0.10	0.20
細菌性髄膜炎	実数		1	2	2									
	定点当		0.08	0.15	0.15									
無菌性髄膜炎	実数													
	定点当													
マイコプラズマ肺炎	実数	4	3	4	1	2	5				2	2		1
	定点当	0.31	0.23	0.31	0.08	0.15	0.38				0.15	0.15		0.08
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	実数	1		1										
	定点当	0.08		0.08										
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	実数				1	1	1				1			
	定点当				0.08	0.08	0.08				0.08			

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	年齢別	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
急性呼吸器感染症	実数	2788	3005	3232	1919	2506	2636		147	988	531	266	89	376	239
	定点当	53.62	57.79	62.15	36.90	48.19	50.69		2.83	19.00	10.21	5.12	1.71	7.23	4.60

入院サーベイランス

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	年齢別	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
インフルエンザ	実数			4											
	定点当			0.31											
新型コロナウイルス感染症	実数	4	6	4	3	6	3		1						2
	定点当	0.31	0.46	0.31	0.23	0.46	0.23		0.08						0.15

指定届出機関（定点医療機関）から報告の修正等があった場合、前週の感染症情報（週報速報版）で公表した数値と異なる場合があります。

保健所・疾患・施設種別　感染症集団発生等報告数（第21週）

令和8年5月18日～令和8年5月24日

インフルエンザ	新潟市	村上	新発田	新津	三条	長岡	魚沼	南魚沼	柏崎	十日町	上越	糸魚川	佐渡
児童福祉施設（施設数）													
老人福祉施設（施設数）													
障害福祉サービス事業所／身体障害者社会参加支援施設（施設数）													
保護施設（施設数）													
その他の施設（施設数）													

新型コロナウイルス感染症	新潟市	村上	新発田	新津	三条	長岡	魚沼	南魚沼	柏崎	十日町	上越	糸魚川	佐渡
児童福祉施設（施設数）													
老人福祉施設（施設数）													
障害福祉サービス事業所／身体障害者社会参加支援施設（施設数）													
保護施設（施設数）													
その他の施設（施設数）													

感染性胃腸炎	新潟市	村上	新発田	新津	三条	長岡	魚沼	南魚沼	柏崎	十日町	上越	糸魚川	佐渡
児童福祉施設（施設数）			1		3	1					1		
老人福祉施設（施設数）													
障害福祉サービス事業所／身体障害者社会参加支援施設（施設数）													
保護施設（施設数）													
その他の施設（施設数）													

その他の感染症	新潟市	村上	新発田	新津	三条	長岡	魚沼	南魚沼	柏崎	十日町	上越	糸魚川	佐渡
児童福祉施設（施設数）						4		1					
老人福祉施設（施設数）													
障害福祉サービス事業所／身体障害者社会参加支援施設（施設数）													
保護施設（施設数）													
その他の施設（施設数）													

※その他の感染症：ヒトメタニューモウイルス、手足口病、風邪症状

○　報告の要件

ア　同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間内に2名以上発生した場合
イ　同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
ウ　ア及びイに該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

麻しん（はしか）の国内外での報告増加に伴う注意喚起について

ページ番号：0379346　更新日：2026年5月28日更新

麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ（厚生労働省より）

○ 重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。**麻しん（はしか）は、「かかってもたいしたことはない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に１人死亡するとされている感染症**です。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

＜麻しん（はしか）を疑う症状がある場合の対応＞

○ **麻しんを疑う症状がある場合は、外出を控える**とともに、**受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、**医療機関の**指示に従ってご対応いただく**ようお願いいたします。

○ 感染拡大防止のため、受診の際には、**公共交通機関の利用を可能な限り避ける**ことについて、ご協力をお願いいたします。

＜自治体の疫学調査へのご協力＞

○ 麻しん（はしか）の感染拡大防止には、**患者や接触者に対する行政による調査が重要**です。ご協力をお願いいたします。

＜ワクチン接種のご検討＞

○ ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、ワクチンは２回接種することが重要です。

○ お子様が麻しん・風しんワクチンの**定期接種の対象である1歳又は就学前1年間**にある場合、**積極的に早期の接種をご検討**ください。

○ 海外では大きな流行が複数の国で報告されています。接種が不十分な場合、**渡航の２週間前までに接種することをご検討**ください。

○ **2000年4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、２回の定期接種が行われていない可能性があります。**母子健康手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は２回の接種記録を確認できない方は、今一度、**麻しん・風しんワクチンの接種をご検討**ください。なお、今回の流行は**10代～40代の方を中心に流行している**ことも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

＜特にご注意いただきたい方々＞

○ 特に、以下の方々は、接種が不十分な場合、ワクチンの接種をご検討ください。
- 保育園や学校職員、医療機関職員など、小さいお子さんや患者さんと接触する機会の多い方
- 空港職員、観光業スタッフなど渡航者と接触する機会の多い方

○ また、以下の方々は、感染すると重症化すると言われていますのでご注意ください。
- 妊娠中は麻しん風しんワクチンの接種はできません。早産や流産のリスクがあるため、妊娠前の接種をご検討ください。
- 免疫不全のある方は、主治医の方と相談のうえ、麻しん風しんワクチン接種をご検討ください。
- 乳幼児は、肺炎や脳炎を起こすリスクがありますので、ご家族の接種歴をご確認ください。

麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ（厚生労働省）［PDFファイル／448KB］

参考：麻しん（はしか）にご注意ください（厚生労働省）［PDFファイル／343KB］

麻しんの国内外での報告増加に伴う注意喚起について

厚生労働省より、麻しん（はしか）の国内外での報告増加に伴う注意喚起が発表されています。

現在、海外における流行が報告されており、インドネシアをはじめとする諸外国を推定感染地域とする輸入事例の報告が増加しています。今後、輸入事例の更なる増加や、国内における感染伝播事例が増加することが懸念されることから、海外渡航をされる方は、以下の点に注意をお願いします。

【海外渡航前の注意事項】

・ウェブサイト等を参考に、渡航先の麻しんの流行状況を確認すること。

・母子保健手帳などを確認し、過去の麻しんに対する予防接種歴、り患歴を確認すること。

・過去定期接種を実施した記録がない場合は、渡航前に予防接種を受けることを検討すること。

・麻しんのり患歴やワクチン接種歴が不明な場合は、抗体検査を受けることを検討すること。

【麻しんの流行がみられる地域に渡航後の注意事項】

・渡航後、帰国後2週間程度は麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意すること。

・発熱や咳そう、鼻水、眼の充血、全身の発しん等の症状が見られた場合は、**医療機関に対して事前に、麻しんの流行がみられる地域に渡航していたことや、麻しんの可能性について連絡の上**、受診をすること。

・医療機関を受診する際には、**医療機関の指示に従うとともに、可能な限り公共交通機関を用いることなく**受診すること。

＜厚生労働省リーフレット＞

見つからないときは

電話リレーサービス

手話リンクについて

出国前の注意事項 [PDFファイル／421KB]　　帰国後の注意事項 [PDFファイル／457KB]

参考：麻しんにご注意ください（厚生労働省リーフレット） [PDFファイル／440KB]

＜海外渡航に関する参考資料＞

- 海外における麻しん（はしか）に関する注意喚起（厚生労働省検疫所）＜外部リンク＞
- 外務省海外安全ホームページ＜外部リンク＞
- 外務省たびレジ＜外部リンク＞

発生状況

麻しん（はしか）の発生状況（感染症発生動向調査（Idwr）：国立健康危機管理研究機構）＜外部リンク＞

新潟県内の患者発生状況（人）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
新潟県内	2	0	0	0	0	0	0	10
（参考）全国	744	10	6	6	28	45	265	498

※2026年については、新潟県内は第21週（5月24日）まで、全国は第20週（5月17日）までの報告数

麻しんとは

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

- ヒトからヒトへ感染が伝播し、感染力が極めて強く、空気感染、飛沫感染、接触感染で容易に広まります。
- 免疫を持っていない人が感染するとほぼ100％発症し、また、一度感染して発症すると、一生免疫が持続すると言われています。
- 感染すると10日程度の潜伏期の後、38°C台の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。
- 2～3日熱が続いた後、39°C以上の高熱と発しんが現れます。
- 肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。

厚生労働省ホームページ「麻しん」＜外部リンク＞

国立健康危機管理研究機構ホームページ「麻しん」＜外部リンク＞＜外部リンク＞

県民の皆様へのお願い

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。

- 麻しんの予防には、予防接種が最も有効であり、十分な効果を期待するためには2回の接種が必要です。
- 定期予防接種の対象者の方は、対象年齢になったら、早めに接種しましょう。
- 発熱、発しんなどの麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従って受診してください。

＜定期接種の対象年齢＞

第1期：1歳以上2歳未満（生後12月から生後24月に至る間にある方）

第2期：5歳以上7歳未満で、小学校就学前の1年間

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、規定の接種時期に定期接種を行えず接種を延期されていた方が、その後（規定の接種時期ではない時期）に接種を行った場合についても、定期接種として取り扱われ得ます。お住まいの市町村にお問い合わせください。

＜任意接種について＞

定期接種の対象でない方が予防接種を希望される場合は、ご希望の医療機関に、麻しんの予防接種（MRワクチン等）が可能かお問い合わせください。

＜参考　リーフレット＞

麻しんはワクチン接種が予防に有効です！[PDFファイル／82KB]

100万回のハグよりも、2回のワクチンを。[PDFファイル／480KB]

GET Adobe Acrobat Reader

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe社が提供するAdobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。（無料）

このページに関するお問い合わせ

福祉保健部　感染症対策・薬務課
感染症対策班
〒950-8570　新潟県新潟市中央区新光町4番地1　新潟県庁行政庁舎12階
Tel：025-280-5200　Fax：025-280-5641　メールでのお問い合わせはこちら

Copyright © Niigata Prefectural Government. All Rights Reserved.

別紙２

麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ

○　重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。**麻しん（はしか）は、「かかってもたいしたことはない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に１人死亡するとされている感染症**です。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

＜麻しん（はしか）を疑う症状がある場合の対応＞

○　**麻しんを疑う症状がある場合は、外出を控える**とともに、**受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、**医療機関の**指示に従ってご対応いただく**ようお願いいたします。

○　感染拡大防止のため、受診の際には、**公共交通機関の利用を可能な限り避ける**ことについて、ご協力をお願いいたします。

＜自治体の疫学調査へのご協力＞

○　麻しん（はしか）の感染拡大防止には、**患者や接触者に対する行政による調査が重要**です。ご協力をお願いいたします。

＜ワクチン接種のご検討＞

○　ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、ワクチンは２回接種することが重要です。

○　お子様が麻しん・風しんワクチンの**定期接種の対象である1歳又は就学前1年間**にある場合、**積極的に早期の接種をご検討**ください。

○　海外では大きな流行が複数の国で報告されています。接種が不十分な場合、**渡航の２週間前までに接種することをご検討**ください。

○　**2000年4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、２回の定期接種が行われていない可能性があります。**母子健康手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は２回の接種記録を確認できない方は、今一度、**麻しん・風しんワクチンの接種をご検討**ください。なお、今回の流行は**10代～40代の方を中心に流行している**ことも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

＜特にご注意いただきたい方々＞

○　特に、以下の方々は、接種が不十分な場合、ワクチンの接種をご検討ください。

・　保育園や学校職員、医療機関職員など、小さいお子さんや患者さんと接触する機会の多い方
・　空港職員、観光業スタッフなど渡航者と接触する機会の多い方

○　また、以下の方々は、感染すると重症化すると言われていますのでご注意ください。

・　妊娠中は麻しん風しんワクチンの接種はできません。早産や流産のリスクがあるため、妊娠前の接種をご検討ください。
・　免疫不全のある方は、主治医の方と相談のうえ、麻しん風しんワクチン接種をご検討ください。
・　乳幼児は、肺炎や脳炎を起こすリスクがありますので、ご家族の接種歴をご確認ください。

別紙３

つつが虫病について

新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課

１　つつが虫病とは

○　つつが虫病は、細菌の一種であるリケッチアによる感染症です。北海道を除く全国で発生が見られ、春～初夏及び秋～初冬に２つの発生ピークがあります。また、東南アジア等にも広く存在しており、輸入感染症としても注意が必要です。

○　本疾患は、リケッチアを保有したツツガムシ（ダニの一種）に刺されることによって感染します。人から人へ感染することはありません。

○　典型的には、５～14 日の潜伏期の後に、全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などの症状が現れます。数日後より、体幹部を中心に発しんが現れ、リンパ節の腫れを伴うこともあります。

２　対応・予防方法

○　抗菌剤による治療を行います。通常、抗菌剤が速やかに効きますが、治療が遅れると重症化する場合があるので、早期発見・早期治療が重要です。

○　野外作業、山菜採り、アウトドアレジャーなどで山林や草地などに入る際は、病原体を保有するダニに刺されることによって、つつが虫病などのダニ媒介感染症に感染する可能性がありますので、次のことに注意しましょう。

（１）長袖、長ズボン、長靴を着用し、肌をできるだけ出さないようにする。
（２）衣類を草むらに置かず、草むらでの休息を控える。
（３）防虫スプレーを使用する。
（４）山野での作業後は入浴するなどして、吸血前のダニを皮膚から洗い流す。
（５）ダニが体についていないか確認する。

・ダニに刺されている場合は早期に除去することが重要です。早ければ病原体が体内に注入することを防げる場合もあります。
・自分でダニの体をつまんで引き抜こうとすると、病原体を自分の体内に注入してしまうことや、ダニの頭部が皮膚に残ってしまうことがあるので、皮膚科で除去してもらうことをお勧めします。

３　その他の主なダニ媒介感染症

○　日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニ【大きさ約３mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は２～８日で、発熱、発疹を伴って発症します。

○　ＳＦＴＳ：ＳＦＴＳウイルスを保有するマダニ【大きさ約３mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は６日～２週間で、発熱、食欲低下、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などで重症化し、死亡することもあります。

○　その他に、ライム病、回帰熱、ダニ媒介脳炎等があります。

４　届出状況

		令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	令和８年
つつが虫病	新潟県	7	4	6	4	6	2
	全国	544	492	445	354	295	48
日本紅斑熱	新潟県	0	0	1	0	0	0
	全国	490	457	500	523	675	69
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	新潟県	0	0	0	0	0	0
	全国	110	118	134	122	191	49

※令和８年は新潟県が第 21 週（５月 18 日～５月 24 日）、全国が第 20 週（５月 11 日～５月 17 日）時点

【参考：啓発ツール・リーフレット等】

・厚生労働省ホームページ「ダニ媒介感染症」（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html）